

KITAGIN NEWS RELEASE 2024

2024 年 7 月 24 日

各 位

株式会社 北日本銀行

きたぎん SDGs 経営サポートによる「SDGs 宣言」策定支援について ～有限会社三和通信～

株式会社北日本銀行（頭取 石塚恭路）は、取引先企業さまの SDGs への取り組みを評価分析し、SDGs 経営を支援する「きたぎん SDGs 経営サポート」を取り扱っております。この度、本サービスのうち Basic（基本版）を通じて、有限会社三和通信（代表取締役社長 花輪哲也）が SDGs 宣言を策定されましたので、下記の通りお知らせいたします。

今後とも当行は、取引先企業さまの SDGs の取り組みを支援し、持続的な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 会社概要

会 社 名	有限会社 三和通信
所 在 地	〒020-0132 岩手県盛岡市西青山 3 丁目 34-25
代 表 者	代表取締役社長 花輪 哲也
業 種	電気通信工事業

2. 重点項目



3. きたぎん SDGs 経営サポートについて

取引先企業さまの SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への取り組みを促進するため、取引先企業さまの SDGs の取り組み状況を確認し、優先課題を決定した上で、目標設定を行うこと（Basic：基本版）、また、サプライチェーン分析による事業活動の流れと SDGs 貢献度を分析し、未来志向の目標設定（Progress：発展版）をお手伝い致します。

以 上

〔本件に関するお問い合わせ先〕

営業統括部 事業コンサルティング室（担当：菅原） TEL：080-5125-4082

企業概要



有限会社 三和通信

代表取締役社長 花輪 哲也

(所在地：岩手県盛岡市)



当社について

当社は、岩手県盛岡市に本社を置く、電気通信工事業をメインとする企業です。

1983年創業以来、岩手県を中心に北東北を主な営業エリアとし、5G化による電気通信網の整備や敷設、従来の通信インフラを支えていたPHS、3Gの撤去等の電気通信工事業を営んでおります。

昨今の情報技術の発達により、情報通信産業だけでなく様々な産業の生産活動や人々のライフスタイルに大きな影響を及ぼし、社会と経済構造に変革が起きております。私達は変化する時代の中でチャレンジし続ける組織を目指し、「発展・成功・貢献」の企業理念のもと、地域を支える通信インフラ事業者として、地域社会のさらなる発展に向けて皆様とともに歩んでまいります。

SDGsへの取組を通じ社会のニーズに真摯に向き合い、社内のDX化や従業員のエンゲージメントの向上等、持続可能な社会の構築に寄与できる企業であり続けられるよう、社員一丸となって業務を遂行していくことを宣言いたします。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	温室効果ガス排出量の削減、エネルギー使用量の削減、廃棄物の3Rの推進
従業員の働きがい	従業員の体の健康保持、コミュニケーションの促進、総労働時間の削減
地域社会への貢献	まちや河・海の自然の保護活動、地域とのコミュニケーション、地産・地消の推進
コンプライアンス・ガバナンス	情報セキュリティ対策、業務効率化や生産性の向上、デジタル技術の活用

有限会社 三和通信 SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、
以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2024年7月24日
有限会社 三和通信
代表取締役社長 花輪 哲也

マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

省エネルギー化の促進や資源利用量の削減に取り組むとともに、環境経営に関する社内浸透を進めます。

▼ 目標・取り組み内容

- ・エコストップ搭載の作業車を2台導入しCO2排出量を削減
- ・倉庫及び事務所内の照明をLED照明に切り替え
- ・社内のIT化によるペーパーレスを推進し資源利用量を削減

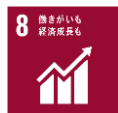


従業員の働きがい

従業員の健康推進やコミュニケーションの促進に積極的に取り組み、全ての人が活躍できる組織を目指します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・年齢問わず毎年全職員を対象とし人間ドックを実施
- ・毎月従業員で運動に取り組み、コミュニケーションを促進
- ・アプリによる勤怠管理により労働時間を正確に把握し総労働時間を削減



地域社会への貢献

地域とのコミュニケーションを大切にし、従業員とともにボランティア活動に取り組めます。

▼ 目標・取り組み内容

- ・地域清掃や除雪活動への積極的な参加
- ・年に一度取引先も含めたスポーツレクリエーションを開催
- ・地元産品を優先的に利用及び購入行い、地元商品の販売促進に協力

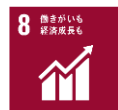
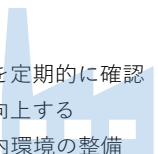


コンプライアンス・ガバナンス

コンプライアンス体制を強化し不正ゼロを継続します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・情報セキュリティ研修を毎年実施し情報管理リテラシーを定期的に確認
- ・施工管理アプリの導入により、業務効率化及び生産性を向上する
- ・社内でのチャットツールを活用し、連携を取りやすい社内環境の整備



北日本銀行

【企画・制作協力：株式会社日経リサーチ「SDGs経営推進プロジェクト」】